

2017年度 第1回網走地区サッカー協会審判員研修会【報告】

- (1) 目的 ・審判員の審判技術強化ならびに審判員としての資質の向上をし、地区の審判レベル向上を図る。
- (2) 日時 2017年7月2日(日)
- (3) 設定大会 オホーツク中体連サッカー大会
- (4) 会場 実技 網走呼人トレーニングフィールド
理論 エコーセンター2000[学習室] ⇒**実技が雷雨で中断したため、時間の都合上中止**
- (5) 講師 加藤 厚司 氏
- (6) 参加者 8名
(高木雅史、船橋美晴、川口晃史、山本貴之、寺田幸太郎、高瀬義史、吉川健太、田中宏一)
- (7) 研修内容 ①審判実技
…主審、副審、第4の審判員での実技、審判団・インストラクターとの反省
②審判理論 ⇒**実技が雷雨で中断したため、時間の都合上中止**
…実技研修での事象交流
…映像による判定基準の確認
- (8) 研修の成果・課題
- ①審判実技 ○研修テーマのメインは「打ち合わせ」とした。打ち合わせでの確認事項を記載した用紙を準備し、受講生に配布した。それに基づいて試合前の打ち合わせを行った。
○受講生が主審・副審・第4審判を同時に担当することを基本として行った。担当試合終了後には反省会を行い、各自の今後の課題等を確認した。
○テーマにそって受講生に打ち合わせをしてもらい、試合終了後に反省を行う、といった流れで行ったが、審判員の人数が足りない状態で、審判担当の前に自チーム(引率チーム)の試合があったり、自チーム引率で集合がぎりぎりな方がいたりとなかなか審判に集中できない場面があって研修テーマとしては不十分だった。その後の講義のときに詳しく説明をし打ち合わせの重要性を認識してもらおうと考えていたが、雷による中断でタイムスケジュールが大幅に変更し、その重要性を伝えることができなかった。
- ②審判理論 ⇒**当日の日程が雷雨の影響による中断で変更され、時間の都合上中止**